

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-506434(P2005-506434A)

【公表日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-009

【出願番号】特願2003-538277(P2003-538277)

【国際特許分類】

C 0 9 B 67/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/3417 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 9 B 33/153 (2006.01)

C 0 9 B 45/14 (2006.01)

C 0 9 B 45/22 (2006.01)

C 0 9 B 47/10 (2006.01)

C 0 9 B 57/04 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

C 0 9 B 67/22 (2006.01)

C 0 9 D 11/02 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

【F I】

C 0 9 B 67/04

C 0 8 K 5/3417

C 0 8 L 101/00

C 0 9 B 33/153

C 0 9 B 45/14 B

C 0 9 B 45/22

C 0 9 B 47/10

C 0 9 B 57/04

C 0 9 B 67/20 B

C 0 9 B 67/22 F

C 0 9 D 11/02

G 0 2 B 5/20 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月4日(2005.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

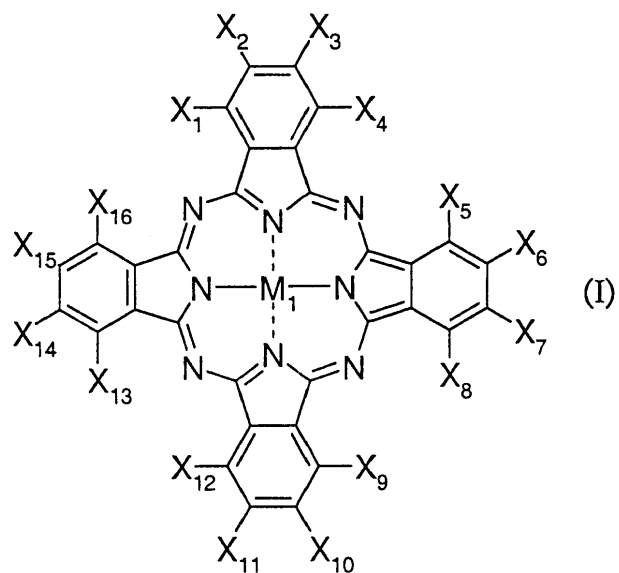
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化 1】

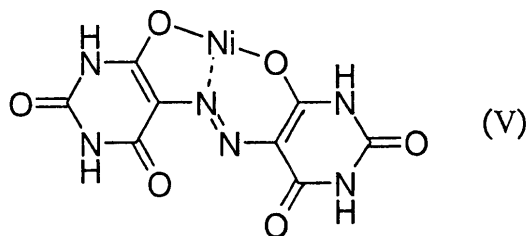
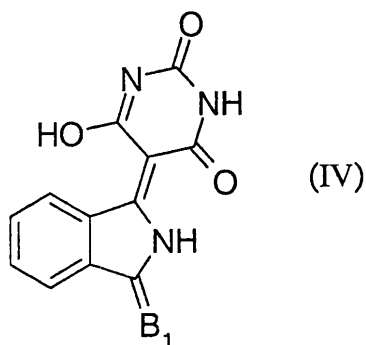
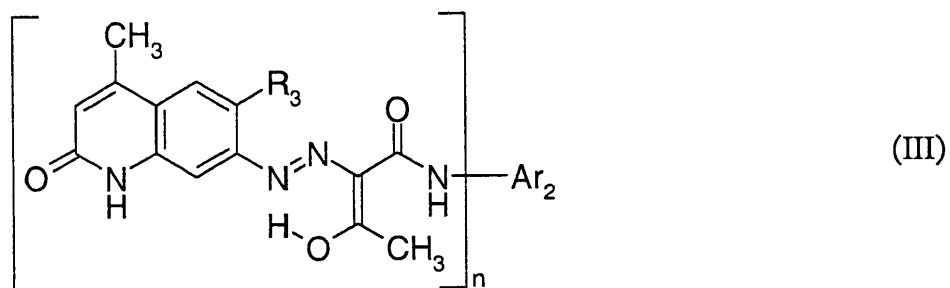
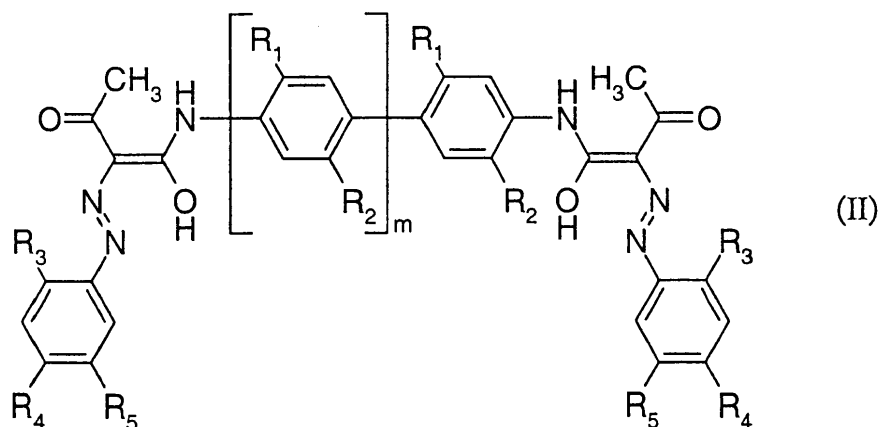


(式中、 M_1 は、 H_2 、 Cu 、 Zn 、 Fe 、 Ni 、 Pd 、 VO 、 MnO および TiO からなる群から選択されるものであり、そして $X_1 \sim X_{16}$ は H 、 Br または Cl であり、 $X_1 \sim X_{16}$ の少なくとも一つは Cl である)

のフタロシアニン；またはその混合物；

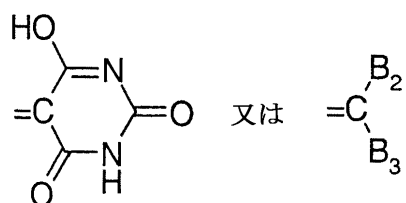
式(II)、(III)、(IV)および(V)：

【化 2】



(式中、 m は0または1であり、 n は1または2であり、 B_1 は

【化 3】



であり、

B_2 および B_3 は、互いに独立に、 CN 、 $CONR_6R_7$ または $CONR_6Ar_1$ であり、
 R_1 および R_2 は、互いに独立に、 Cl 、 R_6 または OR_6 であり、
 R_3 、 R_4 および R_5 は、互いに独立に、 H 、 F 、 Cl 、 R_6 、 CF_3 、 OR_6 、 $CONR_6$ 、
 R_7 、 $CONR_6Ar_1$ 、 $SO_2NR_6R_7$ または $SO_2NR_6Ar_1$ であり、そして
 R_6 および R_7 は、 H 、 $C_1 \sim C_8$ アルキルまたは $C_5 \sim C_8$ シクロアルキルであり、

Ar_1 は、非置換であるか、またはF、Br、Cl、 R_6 、 CF_3 、 OR_6 、 $COOR_6$ 、CN、 $CONR_6R_7$ または $CONR_6Ar_3$ よりなる群から独立に選択される1～5個の置換基で置換された、フェニル、ベンジル、ビフェニル、ナフチル、フェノキシフェニル、フェニルチオフェニルまたはカルバゾリルであり、

Ar_2 は、 n が1のとき、フェニル、ベンジル、ビフェニル、ナフチル、フェノキシフェニル、フェニルチオフェニルまたはカルバゾリルであり、 n が2のとき、それぞれフェニレン、ビフェニレン、ナフチレン、オキシジフェニル、チオジフェニルまたはカルバゾリレンであり、それらの各々は、非置換であるか、またはF、Br、Cl、 R_6 、 CF_3 、 OR_6 、 $COOR_6$ 、CN、 $CONR_6R_7$ 、 $CONR_6Ar_3$ 、 NR_6COR_7 、 NR_6COAr_3 、 $NR_6SO_2R_7$ 、 $NR_6SO_2Ar_3$ 、 NO_2 、 $SO_2NR_6Ar_3$ 、 SO_3M_2 または COM_2 （ここで、 M_2 はH、Na、Li、K、 $Ca_{1/2}$ 、 $Sr_{1/2}$ 、 $Ba_{1/2}$ 、 $Mg_{1/2}$ または NH_4^+ または一級、二級、三級もしくは四級アンモニウムで中和された陰電荷である）よりなる群から独立に選択される1～5個の置換基で置換されており、そして

Ar_3 は、非置換であるか、またはF、Br、Cl、 R_6 、 CF_3 、 OR_6 または NO_2 よりなる群から独立に選択される1～5個の置換基で置換された、フェニル、ベンジル、ビフェニル、ナフチル、フェノキシフェニル、フェニルチオフェニルまたはカルバゾリルである）

の化合物並びにそれらの互変異性体から選択される化合物または化合物の混合物；

摩砕助剤；並びに

有機液体

を含む混合物を、-20～180 で剪断力に付することを含む、顔料形態の着色剤組成物の製造方法。

【請求項2】

剪断力が300～20,000 s^{-1} の剪断率で特徴付けられる、請求項1の方法。

【請求項3】

式(II)、(III)、(IV)および/または(V)の粗製化合物が、無機塩と一緒に、少なくとも10 m/sの接線速度を有するローターの作用のような非常に高い加速度に付され、そのため摩擦効果により、温度が少なくとも80 の温度に達し、そして少なくとも60 m^2/g の表面積を有する微粒子が得られる、付加的な予備工程を含む、請求項1または2記載の方法。

【請求項4】

式(I)の化合物が、無機塩と一緒に、少なくとも10 m/sの接線速度を有するローターの作用のような非常に高い加速度に付され、そのため摩擦効果により、温度が少なくとも80 の温度に達し、そして少なくとも60 m^2/g の表面積を有する微粒子が得られる、付加的な予備工程を含む、請求項3記載の方法。

【請求項5】

請求項1、2、3または4記載の方法で得られる顔料。

【請求項6】

(a) 請求項5に記載の顔料を、(a)と(b)の合計に対して、0.05～70重量%、および

(b) 高分子量有機材料を、(a)と(b)の合計に対して、99.95～30重量%、含む練り込み着色高分子量有機材料。

【請求項7】

カラーフィルターまたは印刷物である、請求項6記載の材料。

【請求項8】

印刷インク濃縮物用の、請求項5に記載の顔料を含む印刷インク。

【請求項9】

電気光学系における、特に、TVスクリーン、液晶ディスプレイ、電荷結合デバイス、プラズマディスプレイまたはエレクトロルミネセントディスプレイにおける、請求項7に記載のカラーフィルターの使用。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

（式中、 M_1 は、 H_2 、 Cu 、 Zn 、 Fe 、 Ni 、 Pd 、 VO 、 MnO および TiO からなる群から選択されるものであり、そして $X_1 \sim X_{16}$ は H 、 Br もしくは Cl であり、 $X_1 \sim X_{16}$ の少なくとも一つは Cl である）のフタロシアニン；またはそれらの混合物；

式（II）、（III）、（IV）および（V）：